

年 組 番
(名前)

<新聞記事から考えよう> 190428



ペットボトル大国

世界中で2016年に消費された飲料用プラスチックボトルの数は4800億本、世界人口を76億人とすると1人当たり年間60本余りになるという。日本の飲料用ペットボトルの出荷本数は2017年度には227億本、1人当たりでは約180本なので、日本は世界有数のペットボトル消費国といっている。

街角の至る所に飲料の自動販売機があり、24時間営業のコンビニでも手軽に買えるのだから当然だろう。

海にごみとして流出するものも多く、海岸清掃をすると大量のペットボトルやキャップが見つかる。地球規模で深刻化するプラスチックごみ対策として多くの国がペットボトル消費の削減対策に乗り出したのもうなづける。

その切り札のひとつが、町中に置いてマイボトルなどに水道水を補給することができる給水器だ。ロンドンやパリなど欧州の大都市では公共投資で路上の給水器が増

時言

ペットボトル大国

え、パリには炭酸水が出る装置まで設置された。

だが、この点でも日本の対策は遅れている。マイボトルに水が入れられる屋外型給水器が設置されたのは、昨年3月、東京都水道局が都内に置いたものが全国初だ。

「カルキ臭い」「かび臭い」と不評だった東京都の水道水は、高度な浄水処理技術の導入で、今や安全でおいしい水になった。水道局はPRのため、わざわざ水道水をペットボトルに入れて売っているのだが、これは今の時代にそぐわない。

環境保護団体グリーンピース・ジャパンは、東京都に、給水機の増設を求めるキャンペーンを進めている。日本を訪れる外国の観光客に、町中にあふれるペットボトルを見せるより、おいしい水道水をマイボトルに入れて味わってもらえるようにした方が、ずっといい。(徹)

(佐賀新聞 2019.4.28 付)

◎記事から読み取ろう

○ペットボトルの消費についてまとめよう。

- 世界中で2016年に消費された飲料用プラスチックボトル数は

_____本

- 1人当たりでは約_____本

- 日本で2017年度に出荷されたペットボトル数は

_____本

- 1人当たりでは約_____本

↓

* 「ペットボトル大国」の意味・・・これは世界の_____倍



◎広げよう・深めよう

- 削減対策として、「屋外給水器」と「マイボトル」があげられています。なぜ、日本ではこのような対策が進まないのだろう。

◎自分の考えをまとめよう

* 友達と意見交換したり、家族と話し合ったりしよう

- 「ペットボトルと私たちの生活」について、ペットボトルの便利な点や私たちの使い方などを考えながら振り返ってみよう。ペットボトル以外のプラスチック製品についても考えてみよう。